

ゲスト・司会による総評



studio-L
山崎 亮

今日のみなさんの発表を聞いて可能性を感じました。日本においては民藝、イギリスにおいてはアーツアンドクラフツと呼ばれた動きが生まれた背景に「機械化」がありました。産業革命が起き、それまでの手仕事を機械に任せる流れに変わっていききました。ところが機械によって、働くときの喜びや楽しさがなくなってしまうのではないかと鋭く気付いた人達がアーツアンドクラフツや民藝といった運動を起こしたのです。面倒だと思われていたなかで工夫や喜び、楽しさがあつたはずで、その不便さや面倒くささをなくしてお金でサービスや物を買取ることになった途端に、充実していた時間をすべてなくしてしまったのではないかと20世紀の後半に私たちは学んでいたような気がします。

不便であることは悪いことではなく、むしろその中に生まれてくる工夫をポジティブにとらえ、達人の知識や経験が尊敬され、その中にある楽しみを感じられることが豊かな暮らしではないでしょうか。労働や生活の中にある楽しさを先輩や友人たちと共有しながら、自信を持って生きる姿を中頓別から発信してもらいたいと思いました。やっぱりこの暮らしが良かったなと思って、仲間になってくれる人たちも増えていくと思います。



studio-L
西上ありさ

今年度はコロナ禍ということで、対面でのワークショップができませんでしたが、いち早く役場にタブレットやwi-fiを導入し、職員のみなさんはワークショップに参加するだけでなく、手厚くIT支援をされていました。町民のみなさんもその思いに応えるように、オンラインの操作や動画づくりを器用にこなされていました。みなさんが、いつも和気あいあいと進められていたのが印象的で、総合計画をつくる意気込みや新しいことへのチャレンジ精神が感じられました。



中頓別町
小林町長

地域の人たちと支え合いながら、その関係性を多様につないでいくことが、ますます進んでいくのではないかと期待しています。今までは、空いてしまった古い建物を壊すときにどうしようか、負債として背負ってのような雰囲気でしたが、活用していければ財産になります。前向きな可能性にみんなが目を向けていけるような土壌をつくっていく一歩なんだと発表を聞きながら感じました。



studio-L
山崎 亮

みんな仲間になって活動していくということに加えて、来年度は並行して総合計画も作ることになります。全国的にもとてもユニークなことをやろうとしているし、違った価値観をしっかりと指し示そうとしている取り組みです。一つ一つは小さいかもしれませんが、それぞれの本質はとても重要な取り組みですので、来年度も引き続き、取り組んでいただきたいです。



中頓別町
小林町長

個々のチームのプロジェクトをしっかり読み込み、深めていきたいと思います。これから10年の総合計画のためにということだけでなく、もっと先のこのまちの未来につながっていく確かな一歩として位置付ける必要がありますので、私としては、この提案を実現していくための力になりたいと思います。

上映会終了後のアフタートーク



studio-L
山崎 亮

すごいなあ、中頓別町のこの雰囲気。町長をはじめとするみなさんのお人柄、いい雰囲気ですね。「関係人口」という言葉が使われるようになってきましたが、今日の発表を見てくれた東京、福岡の方からも中頓別を応援したいと連絡が来ています。町外からアドバイスをくれたり、お菓子を送ってくれたりして話し合いで食べてねと町の一員になる。現実に中頓別に来るのは年1、2回しかないかもしれないけれど、人生を共にする仲間になり、まちづくりに遠隔で関わることができるモデルが生まれると、さらに中頓別のまちづくりがおもしろくなるだろうと可能性を感じています。



中頓別町
小林町長

「ふるさと納税」というものがありますが、納税が返礼品をもらって終わるという関係を越えていかなければならぬし、僕はそういう返礼品目的じゃない寄付にアプローチしていかなければならないと思います。今回発表のあった7つのアイデアが、例えばクラウドファンディングなど、外からも応援してもらえるようになっていくことが期待としてあります。第8期の総合計画は、さまざまな新しいつながりを生み出していく可能性がある」と期待を持ちたいなと思っています。



studio-L
山崎 亮

まったくその通りですね。独自のクラウドファンディングをつくり、お金を出してくれる方がいてもいいし、全国各地の事例を教えてください。話し合いのためのお菓子を送ってくれたり、年数回現場に行つて力仕事をするという寄付でもいい。寄付の種類がいろいろあって、お金でなくてもいいという幅広のクラファンをオリジナルでつくったら、お節介かなと思って遠慮していた人の思いがまちの力になる可能性があります。お金がいくら集まったからすごいということではなく、事例を350事例教えてもらうことになった、お菓子は20kg分ぐらい送られてくることわかった、年に2回来て力仕事をやるという人が50人いた、これ全部足したら1,200万円クラファンで集まったということと遜色ないということが、おもしろいと思ってもらえるような地域づくりが進められるといいなと思いますね。

引き続き、仲間を募集しています！

各チームの活動に参加したい方のご連絡をお待ちしています！



お問合せ

中頓別町役場 政策経営室
(担当 野田・立花)

電話：01634-6-1111 FAX：01634-6-1155
Eメール：kikaku@town.nakatombetsu.lg.jp

計画づくりをきっかけに暮らしの分岐点を
楽しくのりこえるアイデアを発信する

NEWS LETTER

ニュースレター vol.03

暮らしの
アイデア
放送部

アイデア上映会を開催しました！

地域の暮らしの分岐点を楽しくのりこえるアイデアを放送する「暮らしのアイデア放送部」。9月からオンラインで話し合いを進め、教育・仕事・福祉に関わる7つの暮らしのアイデアが生まれました。3月4日、計画づくりをきっかけに生まれた7つのアイデアを動画で上映する発表会を開催し、今後の実現に向けて仲間を募集しました。当日は、部室（サテライト会場）をつないで発表を行いました。



部室① 役場町民ホール



部室③ 役場大会議室



部室② 保健センターホール



部室④ 保健センター会議室

▶ 上映会は、中頓別町 Facebook から視聴できます。



3月4日の上映会速報！

- ▶ 現地参加者数(全4会場) **53人**
- ▶ 当日同時視聴者数約 **60ビュー**
- ▶ Facebook へのコメント数 **30件**
- ▶ 視聴回数 **1,100回** (3月10日時点)
- ▶ 仲間の応募人数 **17人** (3月10日時点)

7つのアイデアとゲストによる講評

中頓別町では、昨年9月から**町民参加型**で**総合計画づくり**に取り組んできました。

計画づくりをきっかけに、暮らしの分岐点を楽しくのりこえる**7つのアイデア**が誕生。

ゲストの小林町長と studio-L 代表山崎亮からの7チームの発表に対する講評をまとめました。

生涯学習



探求型の「町営塾をつくろう！」

変化の激しい未来を生きる力を育むため、好奇心から学びをスタートする探求型の町営塾づくりを目指すチームです。子供の将来のキャリアを考える塾を一緒に作りませんか？

- メンバー
- 小倉弘さん
 - 小倉麗央さん
 - 宮崎泰宗さん
 - 星川里美さん
 - 村田華奈子さん
 - 北口奨悟 (産業グループ)
 - 荒井宏太 (教育グループ)



studio-L 山崎 亮

多世代が集まって人生経験も含めて学びの質を高めていくことができる場所になるといいですね。中頓別で活躍する人材が持つべき表情筋や共感性、責任感など人工知能ができないことを学び合う場所にしてほしいです。



中頓別町 小林町長

学習塾をつくるということだけでなく、地域の豊かさを生きる力に変えられる人を育てる塾が求められていると感じました。候補地の活用も、いろいろなアイデアをミックスできるよう期待を込めて後押ししたいと思います。



プレビュー動画はこちら

医療・子育て



「オンライン診療デビュー」してみない？

子供が熱がでた…。吹雪で大変…。そんな時、家にいながらスマホやPCで診察できるオンライン診療デビューを目指すチームです。まずはオンラインツールの勉強会から始めませんか？

- メンバー
- 石井未果さん
 - 十倉智美さん
 - 西村智広 (国保病院)



studio-L 山崎 亮

近くに大きな病院がない、冬の移動が難しいといった条件が重なった地域だからこそオンライン化を進めたいという思いは切実でしょう。共感する人を増やし、機運を高め、医師たちもやらなければと思うような発信をしてほしいです。



中頓別町 小林町長

これまでも小児科医の確保が課題でした。コロナの影響もあり、オンライン診療を初診からできるように国でも動きを見せています。地域医療を支えるサポートチームの体制整備など、まちで取り組む課題になるでしょう。



プレビュー動画はこちら

働き方改革・子育て



「パパ力あっぷ」をみんなで応援しよう！

家族と一緒にいる時間をつくりたいし、仕事も頑張りたい。育児と仕事を両立したいパパに向けて、先輩パパの知恵や情報を発信するチームです。一緒に未来の働き方を研究しませんか？

- メンバー
- 田邊奈月さん
 - 石井未果さん
 - 鈴木 愛 (住民グループ)
 - 遠藤光平 (消防中頓別支署)



studio-L 山崎 亮

時短やノー残業デーを望むパパたちも多いでしょう。町民からムーブメントを起こし、意識を高めていくことで世論をつくることができれば、早く帰ってごはんをつくらうと思えるようになるだろうと思います。



中頓別町 小林町長

残念ながら、これまでに育休を取った男性職員がいないので、パパ力が高い職員になっていけるように後押しができるような環境づくりができればと思います。



プレビュー動画はこちら

食の観光



「エプロンツーリズム」をつくろう！

ポケットのついたエプロンに山菜道具やワイングラスをいれて地域をめぐる食ツアーを企画するチームです。鍾乳洞でワインの貯蔵、酪農家とチーズ等、美味しいツアーをつくりませんか？



studio-L 山崎 亮

エプロンツーリズムというネーミングがかわいい。オリジナルのおしゃれなエプロンを作って、すぐにでも活動を始められそう。たくさんの人たちが参加しなくても、まずは少ない人数からやってみるとよいでしょう。



中頓別町 小林町長

中頓別町でワインの醸造用ぶどうの試験栽培をしているため、これをうまくつなげていき、鍾乳洞のなかにワイン樽を設置して、ワインを注いで飲む日がくるといいですね。



プレビュー動画はこちら

事業承継・商店活性



「なかシュラン応援ガイド」をつくろう！

地元で愛されているのに後継ぎが見つからず、将来なくなってしまうかもしれないお店を取材し、店主や地元の想いを発信するチームです。未来に向けてバトンを渡す応援をしませんか？



studio-L 山崎 亮

一から事業をつくるよりも今あるものを継承して新しいテイストを加えていくような、継承兼起業はこれから注目されていくでしょう。マッチングを進めるチームがあるのは、町にとっても大きな力になると思います。



中頓別町 小林町長

中野商店が老舗のお菓子屋さんを継いでくれた時は、明るい話題で勇気づけられることでした。今あるお店が残ってほしいという町民の思いもあるので、マッチングを進めていければと思います。



プレビュー動画はこちら

多世代・都市交流



「サバイバルの達人」とキャンプをしよう！

樹木の蜜でコーヒーを淹れたことありますか？キャンプを通して、都会のキャンプ好きと地域の山あそびの達人の交流をつくるチームです。普通のキャンプじゃもの足りない人は迷わず集合！



studio-L 山崎 亮

都会ではサウナやキャンプのために山を買う人がいますが、買わなくてよい環境に暮らしているの、それを生かさない手はないと思います。達人からいろいろ教えてもらえる環境を活かしたアクティビティは魅力的です。



中頓別町 小林町長

15年ほど前に自然学校を作ったときにも、町内の多くの達人たちが多く参加してくれました。豊かな自然での暮らしを誇りに思い、できることを積み上げていながら、町外から来た人とも共有できたらおもしろいでしょう。



プレビュー動画はこちら

ものづくり交流・拠点づくり



「いつラボ」で一緒につくろう！

Do It Together (一緒につくろう)！の精神で、ものづくりを楽しむ人たちが、自由にものをつくることができ、知恵や情報を交換できる場所をつくるチームです。いつラボでDITしよう！



studio-L 山崎 亮

今、「便利であること」が正しいのか見直されていると思います。力を合わせて作り、道具をメンテナンスし、壊れたものを直すことができるのが正しい生活なのではないでしょうか。チームの今後に期待しています。



中頓別町 小林町長

現在、合理的に作られているものを読み解き、地元にあるもので作ることを楽しむことが豊かな試みだと思います。私も半農半Xを目指して、小さなトラクター、ダンプ付きの軽トラを持っているので、一緒に活動できるといいと思います。



プレビュー動画はこちら